

民生文教委員会

「健康づくりについて」

(会場：市民健康館さくら・さくら)

委員長：柴田浩行、副委員長：後藤幸夫、委員：岡村千里、矢幡秀則、上村良一、稲垣民夫

○委員会テーマについて

No.	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	健康づくりとして町内で様々な取り組みを実施しているが、残念ながら、家から出てこない人がある。 家から出てこない人をいかに外出させるか。 引きこもり対策に取り組んでほしい	興味のある講座を行ってもらう事で、参加を呼び掛ける事が必要と考えています。 また、孤立することのないように、地域で声かけをし、楽しく参加できる企画をたてるなど、行政と共に地域の皆さんの力が大切だと考えています。
2	健康づくりとして歩くことに取り組んでいる。 全市的に「歩ける環境づくり」に取り組んでほしい。	市では現在、遊歩道整備に取り組んでいますが、全市的に取り組むよう努めていきたいと考えています。
3	高齢者の居場所づくりとして、町内の集会所を活用したい。 簡単な体操など、様々なプログラムを実践したいが、行政を介して講師を派遣できないか。	長寿社会課に相談いただければ、講師等の紹介もできると聞いております。

○共通テーマ（「どんなまち! こんなまち! 犬山」）について

No.	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	犬山のまちづくりは「西高東低」と感じる。 道路の整備等、城東地区のまちづくりに積極的に取り組んでほしい。	城東地区の幹線道路は県道が多いため、県に働きかけるとともに、市道整備とグラウンドの新設ができるよう、努めていきたいと考えています。

建設経済委員会

「どうなる? どうする? ごみ問題」

(会場：犬山市体育館【エナジーサポートアリーナ】)

委員長：市橋円広、副委員長：柴山一生、委員：山田拓司、中村貴文、岡 覚、三浦知里、ビアンキアンソニー

No.	市民からの意見	建設経済委員会の見解
1	新ごみ処理施設建設に反対の地区への対応はどうするのか。反対の地区があるのに、「建設地」として決定するのは、地元の方の心理を逆なでするのはでは。	反対の地区も含めて、具体的な安全性や影響などについて、何度も説明会を開いており、最終的に同意を得られる様、今後も努力していく必要があると考えています。
2	2025年に、新ごみ処理施設の供用開始を目指しているという市長の会見があったが、現時点での具体的なスケジュールは決まっているのか。	犬山、江南、扶桑、大口の4首長の考えは、「一日でも早く」という方向性だと認識しています。 4月1日に「尾張北部環境組合」を設立、最初の議事を7月に行い、組織として動き出す予定です。
3	ごみの回収方法はどうか、各町内会で決めた集積場に回収に来るステーション方式ではなく、扶桑町の様なルート方式にする検討をしてもいいか。	回収方法は、それぞれの市町で検討されます。 住民の皆さんの意見を聞き、地域に一番良い方法を検討していく必要があると考えています。
4	プラスチックの分別について、一緒に集める場合、高温の焼却炉にしなければならないと聞いている。 分別についての検討はどうなっているか。	地元地区から、廃プラスチックは回収する様にしてほしいという要望もあり、地域にとって、何が一番なのか、様々な方向から検討を進めています。
5	集会場は「防災の拠点」ということだが、集会場の免震・耐震対策などはどうしているのか。	町内会所有の集会場改修に対する補助があり、金額も大幅に引き上げられましたので、是非活用してください。
6	市民プール跡地、草や垣根が伸び放題で、マムシが出たり、畑が日陰になってしまっている。 将来的にどうされる予定なのか。	近い将来、解体したいという意思是聞いており、解体の計画や、跡地利用については現在検討中との事です。 草刈りは、年2回実施されていますが、現地の状況に沿った対応を行う様、市に対して求めています。

平成29年1月14日開催

犬山市議会 市民との意見交換会

「議員と語ろう」

～皆さんのご意見とその回答～

犬山市議会は、「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため、「市民との意見交換会」を開催いたしました。

今回は、常任委員会ごとに会場を分け、犬山市全般に対する共通テーマ「どんなまち! こんなまち! 犬山」と、常任委員会ごとに決めたテーマについて、皆さんの声を直接伺う形で行い、45名の方にご参加をいただきました。

各会場でいただきましたご意見の一部を紹介します。



よりよい犬山市を目指して頑張ります。
たくさんのご意見ありがとうございました。

総務委員会

「どうなる? どうする? 駅周辺」

(会場：犬山市役所)

委員長：鈴木伸太郎、副委員長：水野正光、委員：玉置幸哉、大沢秀教、久世高裕、吉田鋭夫

No.	市民からの意見	総務委員会の見解
1	犬山駅東のイトーヨーカドー撤退のあと、後継テナントが決定してよかった。 民間駐車場が無くなってしまうのは残念。	同感です、出店を歓迎したいと思います。 民間駐車場の存在が貴重だったという指摘も、多くの市民から頂いています。
2	犬山駅周辺の市街地で、空き家再生とクリエイティブな展開とを連動させれば、新しい層の住民が移住し、もっと面白いまちづくりができ、人口減少対策にも有効ではないか。	価値観やライフスタイルが多様化している時代であり、まずは交流人口を増やす政策が重要です。 空き家バンク制度の活用や、Uターン、Iターン政策の充実を提案していきます。
3	犬山駅は利用者が多いのに不便だ。 犬山駅通線の電柱は、通行車両のスピード抑制に役立っていると思うが、無いほうがいいのか? 有ったほうがいいのか?	駅には、まずはトイレの整備が必要だと考えています。 犬山駅通線は、都市計画の見直しも含めて、地元住民の間でもこれまで検討が続けられている懸案事項であり、市議会でも議論している課題です。
4	駅周辺だけに限らず、人が集える場所があれば、まちづくりの核になっていくのでは。	市内の学生たちは、電車で利便性の良い大型ショッピングセンター（MOZOなど）へ遊びに行ってしまう。 駅周辺に集える場所は必要です。
5	市内に7つも駅がある都市はそんなに多くない。 駅を基軸にした街づくりをするべきだ。	四季の丘や、もえぎヶ丘の子どもたちが流出してしまうようなまちではいけません。
6	橋爪東、五郎丸の新たなまちづくりと、五郎丸駅による新しいまちづくりに期待したい。	民間から提案があるのは事実です。 まずは新展開を生むことが可能な政策が必要です。